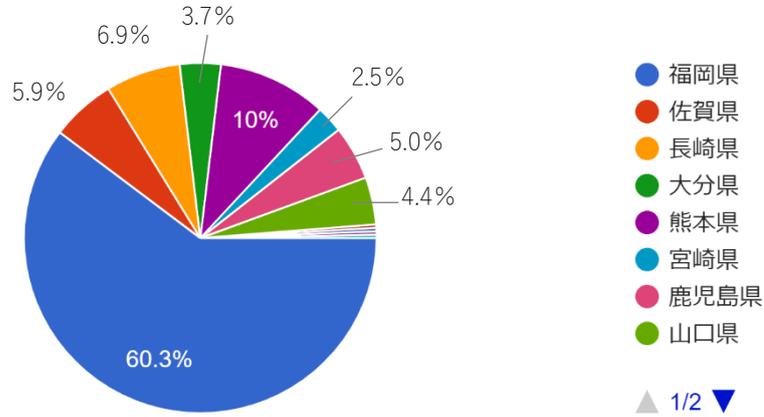


第3回オンライン調査 緊急事態宣言後の在宅勤務の状況について

【回答】対象者：九州・山口地区の企業に所属する社員 4820 名を対象 ※回答 320 名
公益財団法人 九州生産性本部

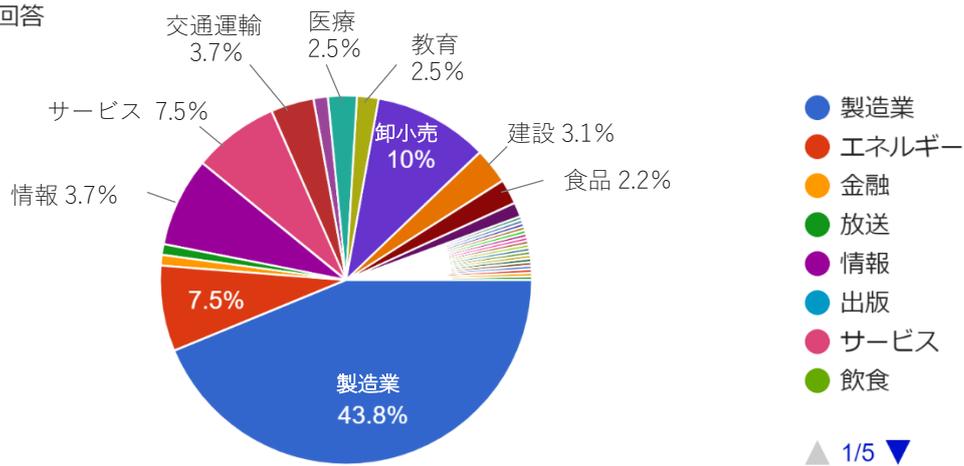
所在地

320 件の回答



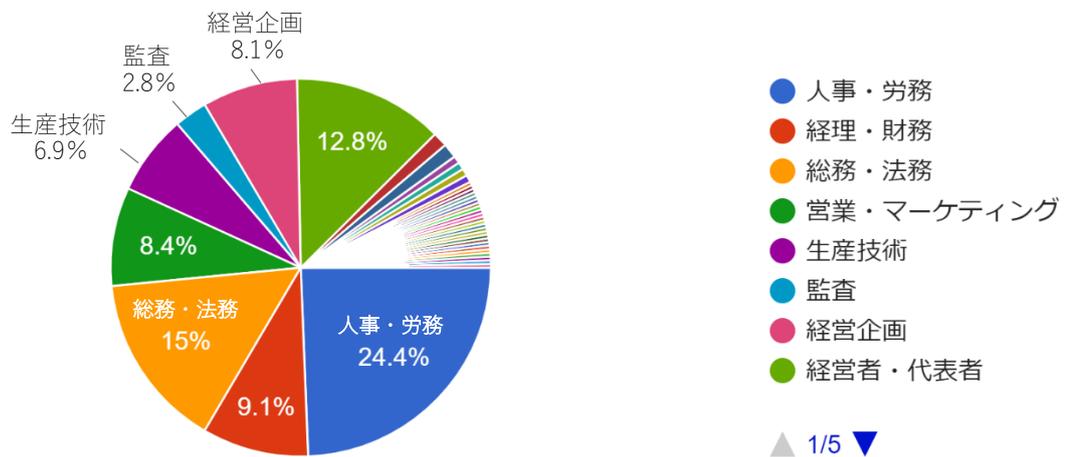
業種

320 件の回答



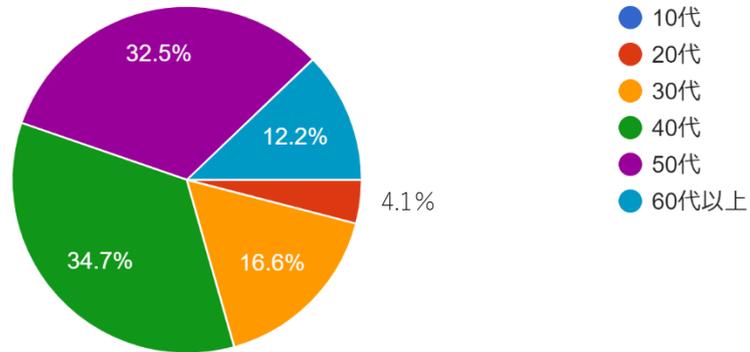
所属

320 件の回答



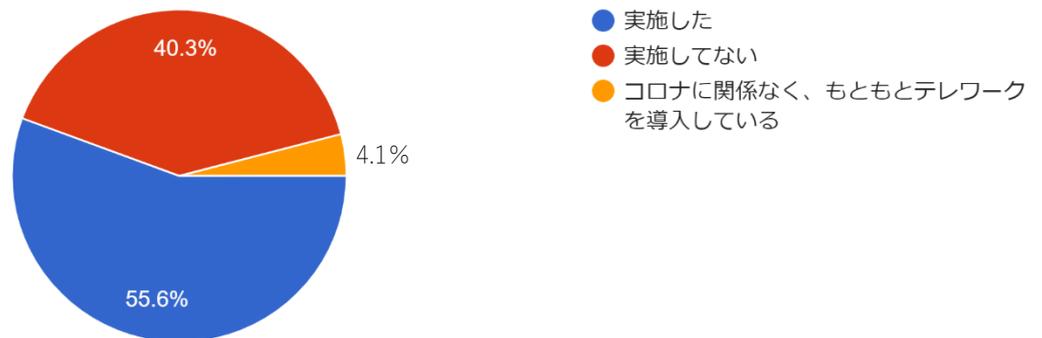
年齢

320 件の回答



1 コロナの影響により、テレワークを実施しましたか

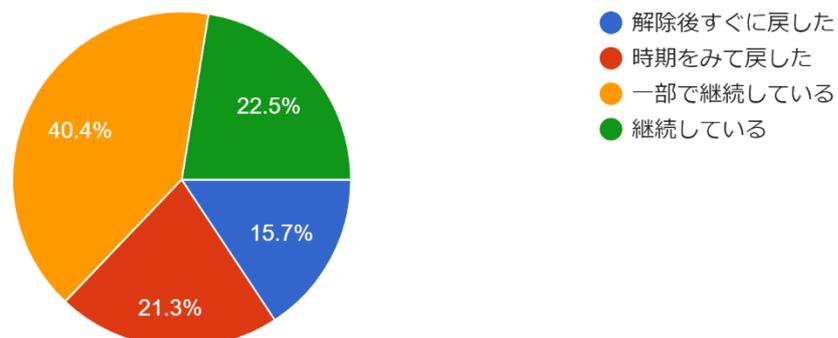
320 件の回答



1-1 テレワーク実施したと答えた方へ

「緊急事態宣言」解除後、通常勤務に戻りましたか？

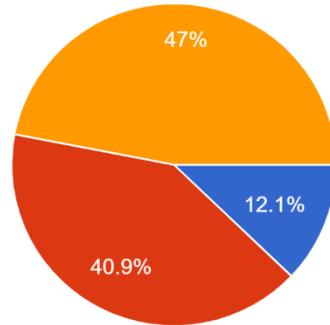
178 件の回答



1-2 通常勤務へ戻ったと回答した方へ

テレワークを継続して欲しかったですか？

66件の回答

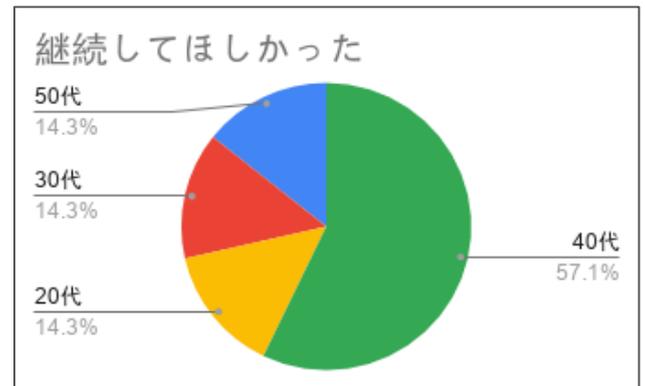


- 継続してほしかった
- 通常勤務の方がよい
- どちらでも選択できるようにしてほしい

▶上記の項目を選んだ理由と年代別割合のグラフ

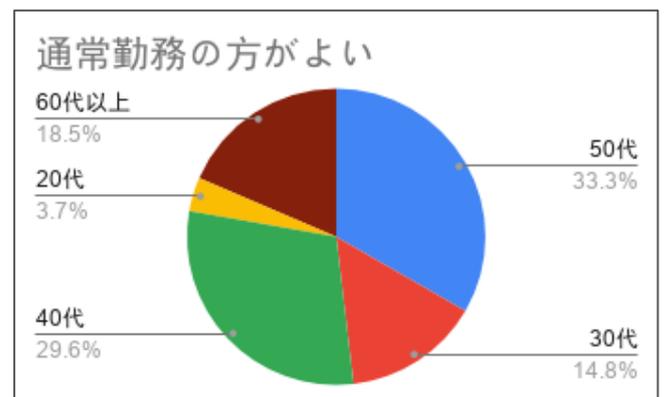
<テレワークを継続して欲しかった(12.1%)>理由

- ・通勤時間などが無駄だと感じる。
- ・テレワークでも仕事ができる
- ・社内が三密なのが気になる
- ・テレワークは機能していた。家族との時間が増えた。
- ・テレワークに一定の効果が実感できたので。
- ・仕事がかどった。
- ・テレワークは、電話もなく仕事に集中出来た
- ・コロナの第二波が不安なので



<通常勤務がよい(40.9%)>理由

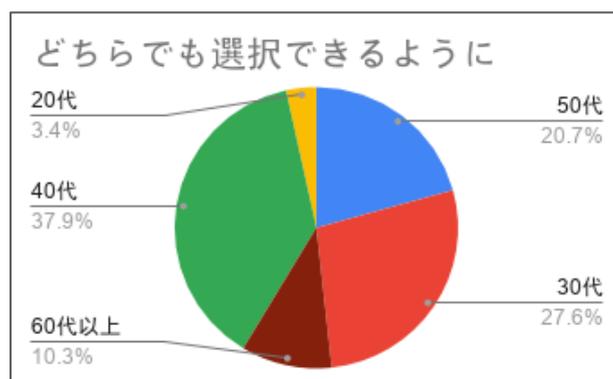
- ・設備工事をする上で、テレワークは難しく、現状打開策がない為
- ・WEB環境の整備不足、現場対応など
- ・監査業務は直接面談がベター
- ・対面のほうが考えを伝えやすい
- ・業務がスムーズに行えるため
- ・テレワークのシステムが整っていない。
- ・家では集中できない。コミュニケーションがとりづらい。
- ・テレワークできる業務が少ないから
- ・勤務管理がしづらい、コミュニケーションがとりにくい
- ・ほとんどが製造現場でテレワーク可能者は数名程度
- ・業務がやりやすく、体調不安もない
- ・テレワークでは遂行可能な業務に限られる
- ・事技部門での仕事内容により、テレワークだと限界もある為
- ・ビル内でテレワークを実施したが、移動、清掃作業などなにかと大変であった。



- ・運輸業であり、現場を持っているため、事務職でも出社が必要になってしまう。
- ・SNS 経由では少しのことで、手間がかかる。
- ・長期化を見据え、3 密対策をある程度実施したので通常状態にした
- ・テレワークで出来る業務が限られている為
- ・規程や設備等の整備等ができていない。
- ・担当する業務や雇用形態によって、テレワークができないため
- ・社員同士顔を合わせたほうが仕事を進めやすい為
- ・営業部門のテレワークは無理、インフラも出来ていない。
- ・各職場への業務監査等テレワークではどうしても補えない業務があるため
- ・手元に必要資料が届かない（通常勤務者に依頼しなければならない）。集中して何かを作成する仕事ばかりではなく、かといって P C を離れる訳にはいかずメリハリがなく充実感がない。
- ・表向き在宅勤務としたものの、実態は自宅で行える業務はほとんどなく、自宅待機でしかなかったため

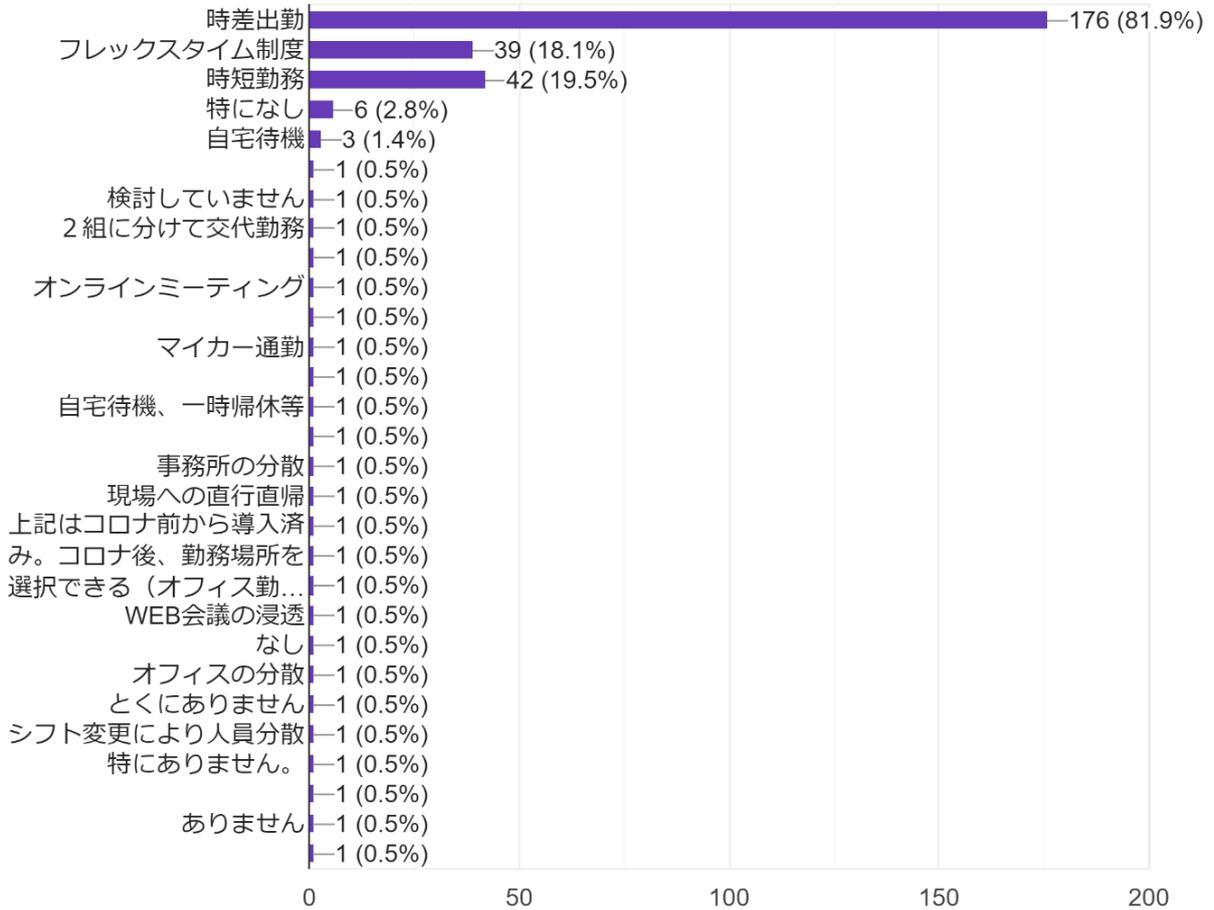
<どちらでも選択できるようにして欲しい(47.0%)>理由

- ・テレワークの方が効率上がる仕事とテレワークでは出来ない仕事があるため
- ・基本は通常勤務でいいが、ケースバイケースでテレワークができるとありがたいと思う
- ・衛生感覚は個人で異なるもの、心身ともに健康に自分と周りに安全配慮しつつ、仕事が継続できる場合はテレワークを選択できる職場環境が有り難いと思います。
- ・テレワークの効果が理解できたため
- ・通勤時間の短縮など
- ・テレワークでも仕事ができることが分かったため
- ・テレワークでは想像よりも支障が少ないと感じたため
- ・今後の新型コロナ第 2 波の感染拡大が懸念されるから
- ・テレワークにより業務改善が進む業務もあるため
- ・働き方に柔軟性を持たせたい
- ・在社していなくてもできる業務が見つかったから
- ・在宅であっても対応できる業務がある為
- ・通常勤務、テレワークのそれぞれに良い点、悪い点がある。
- ・テレワークでもある程度の仕事可能
- ・テレワークの普及によって通勤時間の削減等、メリットがあると思うため
- ・業務内容にもよるが、テレワークが可能な業務、部署は継続を検討してもよいかと考える。
- ・通常業務、在宅勤務それぞれの良さ悪さがあるため
- ・テレワークは課題もありますが、仕事によって生産性があがる良い部分もあるので、使い分けができるといいなと思います。
- ・通勤が大変、時間が勿体ない
- ・「働き方改革」の取り組みの一環として、職員それぞれのライフワークに合わせて実施してよいと感じた。
- ・働く人の事情（子育て世帯が出社できなかった）
- ・地域によって実情が異なるので
- ・通勤の時間を有効活用できるので、両方の選択肢がほしい。
- ・どちらにもメリット・デメリットあるので、T P O で使い分けできると良いのではないか。
- ・状況は様々なので選択肢があると良い
- ・業務内容、個人の都合に応じてテレワークは継続していく必要がある



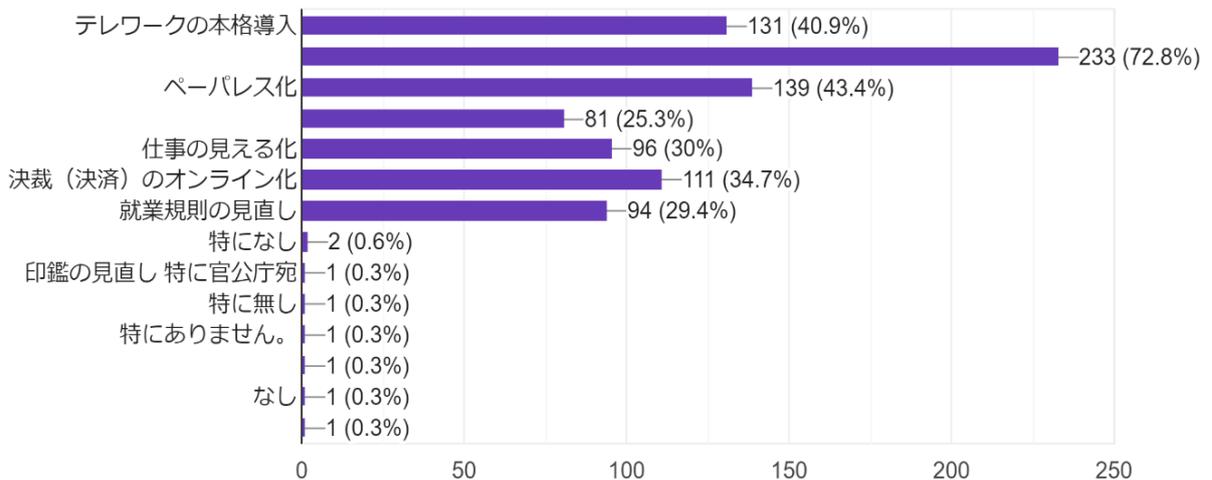
2 テレワーク以外で、コロナを機に導入した（検討している）制度はありますか？（複数回答可）

215件の回答



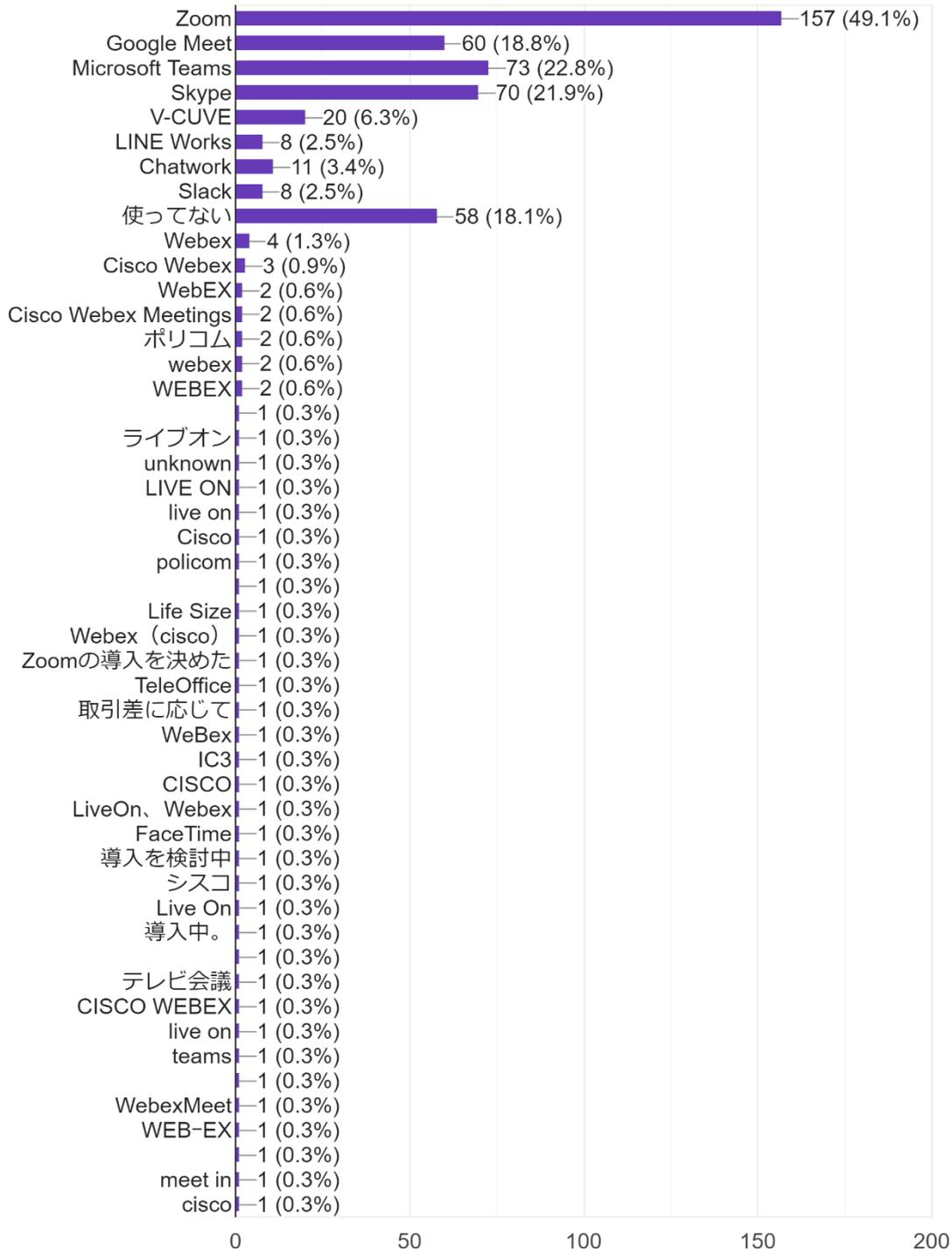
3 コロナを機に改善した（したい）・導入した（した...）ことがあれば教えてください。（複数回答可）

320件の回答



4 普段の仕事でWeb会議システムは使ってますか？（複数回答可）

320件の回答



※フォームの特性上、一部回答が見つらい部分がございます。何卒ご容赦くださいませ。

公益財団法人 九州生産性本部 広報担当 三小田、中尾
Tel 092-771-6481

※調査結果の無断引用・転用・転載を禁止します。
ご希望の場合は上記担当者までお問合せください。